

(2) 家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー(家庭→仕事の否定的影響)

家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーは平均値10.4点(標準偏差6.5、範囲0~36点)であった。

仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーと同様に、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーを経験している母親はおよそ10%であることが明らかとなった。

(3) 仕事から家庭へのポジティブスピルオーバー(仕事→家庭の肯定的影響)

仕事から家庭へのポジティブスピルオーバーは平均値11.2点(標準偏差3.2、範囲0~16点)であった。

就労している母親の60%以上の母親が、仕事から家庭へのポジティブスピルオーバーを経験していると回答していた。各項目のうち、「x21. 仕事が早く終わると、ゆとりをもって、家事育児ができる」という状況を経験したことがあると回答する母親の割合は80%以上であった。

(4) 家庭から仕事へのポジティブスピルオーバー(家庭→仕事の肯定的影響)

家庭から仕事へのポジティブスピルオーバーは平均値10.0点(標準偏差3.1、範囲0~16点)であった。

仕事から家庭へのポジティブスピルオーバーと同様に、半数以上の母親が家庭から仕事へのポジティブスピルオーバーを経験していると回答していた。各項目のうち、「x23. 家庭生活が充実していると、職場でも明るい気持ちで過ごすことができる」と回答した母親は80%以上であった。

表3. 仕事と家庭のスピルオーバーの平均値、標準偏差、得点範囲

| | 平均値 | 標準偏差(SD) | 範囲 |
|----------------------|------|----------|------|
| 仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー | 13.2 | 7.2 | 0-36 |
| 家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー | 10.4 | 6.5 | 0-36 |
| 仕事から家庭へのポジティブスピルオーバー | 11.2 | 3.2 | 0-16 |
| 家庭から仕事へのポジティブスピルオーバー | 10 | 3.1 | 0-16 |

8. 伝統的価値観

伝統的価値観合計得点の範囲は0~17点(21点満点)と個人差が大きい

伝統的価値観は統計数理研究所が行った「東アジア価値観国際比較調査」の7項目(吉野., 2005)を用いて測定した。各項目に対する回答は「0点:まったくその通りだと思う」「1点:そう思う」「2点:そう思わない」「3点:決してそ

う思わない」で求めた。したがって、得点が高いほど伝統的価値観を持っていることを表している。

各項目の平均値を求めたところ、「先祖を尊ぶ」が平均 2.2 点（標準偏差 0.6、範囲 0～3 点）、「長男は両親の面倒を見るべき」が平均 0.9 点（標準偏差 0.9、範囲 0～3 点）「妻は夫に従う」が平均 0.8 点（標準偏差 0.7、範囲 0～3 点）、「親が反対する結婚はしない」が平均 1.2 点（標準偏差 0.7、範囲 0～3 点）、「年上の人意見に従う」が平均 1.4 点（標準偏差 0.7、範囲 0～3 点）、「家計を継がせるために息子は必要だ」が平均 0.9 点（標準偏差 0.7 点、範囲 0～3 点）、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ」が平均 0.6 点（標準偏差 0.6、範囲 0～3 点）であった。

図 8 より、伝統的価値観合計得点は最小値 0、最大値 17（21 点満点）であり、個人差が大きいことが明らかとなった。

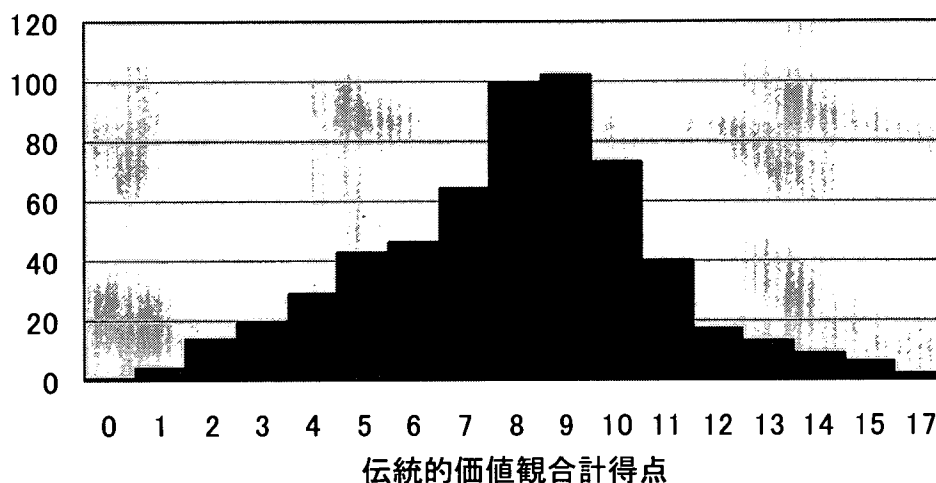


図 8 伝統的価値観の合計得点分布

9. 抑うつ傾向

全体の約 20%に抑うつ傾向の疑いあり

抑うつの測定には CES-D (Radloff., 1977; 島, 鹿野, 北村, 浅井., 1985) を用いた。これは 20 の質問項目から構成され、各項目に対する回答は、最近一週間の身体状態に関して「0 点:ない」「1 点:1-2 日」「2 点:3-4 日」「3 点:5 日以上」で求める形式となっている。CES-D の得点は各項目に対する回答を単純加算合計して求められ、この得点が高いほど抑うつ傾向にあることを意味している。また CES-D 得点は一般的に 16 点がカットオフポイントとされ、16 点以上は強い抑うつ傾向にあると判定される。

CES-D の平均得点は 10.7 点（標準偏差 8.2 点、範囲 0～57 点）であった。このうち、CES-D 得点が 16 点以上であった者の割合は全体の 22.1%であった。

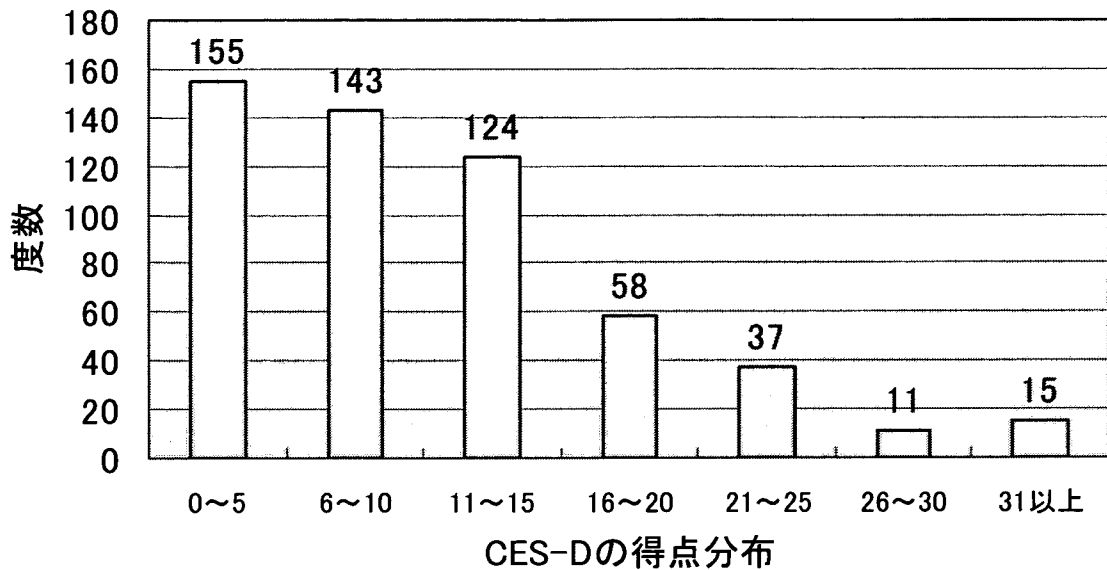


図9 CES-D（抑うつ傾向）の得点分布

10. 育児放任傾向

育児放任傾向のみられる母親は少数ながら存在する

本調査では、「教育」「栄養」「衛生」「緊急」「休養」「安全」「関心」に関する育児放任傾向について計 22 項目で尋ねた。各項目に対する回答は「0点:そうしている」「1点:まあそうしている」「2点:あまりそうしていない」「2点:まったくそうしていない」で尋ね、得点が高いほど意図の有無に関わらず育児放任傾向が強いことを表している。

各尺度の平均値は、「教育」が 2.5 点（標準偏差 1.5 点、範囲 0~6 点）、「栄養」は 1.9 点（標準偏差 1.4 点、範囲 0~6 点）、「衛生」は 0.7 点（標準偏差 1.0 点、範囲 0~6 点）、「緊急」は 0.6 点（標準偏差 0.9 点、範囲 0~6 点）、「安全」は 0.7 点（標準偏差 1.1 点、範囲 0~6 点）、「休養」は 1.5 点（標準偏差 1.6 点、範囲 0~6 点）、「関心」は 3.1 点（標準偏差 1.7 点、範囲 0~8 点）であった。総合得点である「育児放任傾向」得点の平均値は 11.0 点（標準偏差 6.0 点、範囲 0~44 点）であった。

表 4 育児放任傾向の平均値、標準偏差、得点範囲

| | 平均値 | 標準偏差(SD) | 範囲 |
|--------|------|----------|------|
| 育児放任傾向 | 11.0 | 6.0 | 0-44 |
| 教育 | 2.5 | 1.5 | 0-6 |
| 栄養 | 1.9 | 1.4 | 0-6 |
| 衛生 | 0.7 | 1 | 0-6 |
| 緊急 | 0.6 | 0.9 | 0-6 |
| 安全 | 0.7 | 1.1 | 0-6 |
| 休養 | 1.5 | 1.6 | 0-6 |
| 関心 | 3.1 | 1.7 | 0-6 |

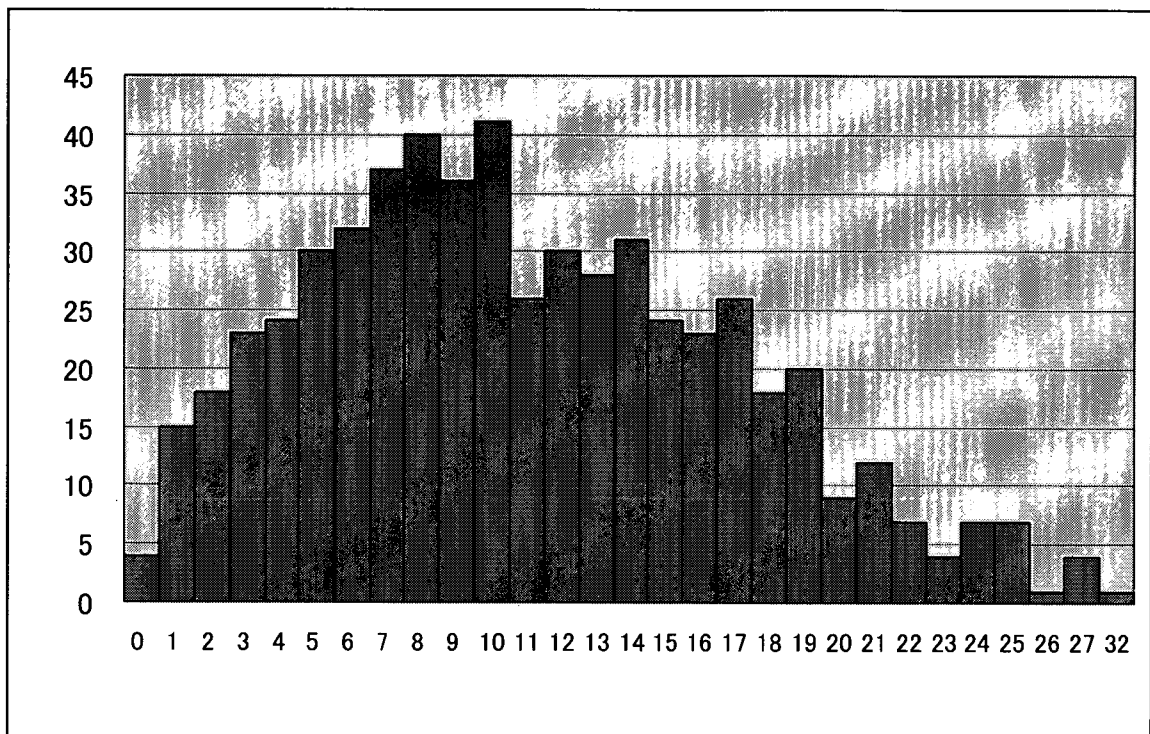


図 10 育児放任傾向得点分布

11. 育児効力感と育児役割に対する認知的評価、抑うつとの関係

- ・ 夫のサポートに対する期待は、育児効力感を高める
- ・ 育児効力感が高いほど、育児役割を肯定的に捉え、否定的にとらえにくい
- ・ 育児効力感が高いほど、抑うつ傾向になりにくい。また育児役割を否定的に捉えているほど抑うつ傾向になりやすい

育児効力感と育児役割に対する認知的評価、抑うつとの関連性はどのようなものであろうか。自己効力感および育児効力感に関する先行研究を参考にして、育児効力感、育児役割に対する認知的評価、抑うつとの関連性を重回帰分析^{注1}を用いて検討した。

まず、育児効力感を従属変数として重回帰分析を行った結果、夫のサポート、友人のサポート、家事・育児役割分担が育児効力感と有意な関連性があることが示された。つまり、夫のサポートに対する期待が高いほど、友人のサポートに対する期待が高いほど、家事・育児役割を母親が担っているほど、育児効力感が高いという結果であった。

次に、育児役割に対する認知的評価の「利益」を従属変数として同様の解析を行なった結果、末子の年齢、夫のサポート、友人のサポート、育児効力感が有意な関連性を示していました。したがって、末子の年齢が低いほど、夫のサポートに対する期待が高いほど、友人のサポートに対する期待が高いほど、育児役割を利益と捉えていることが明らかとなった。

次に「害・損失」を従属変数として重回帰分析を行った結果、夫のサポート、専門家のサポート、育児効力感が有意な関連性を示していた。したがって、夫のサポートに対する期待が低いほど、専門家のサポートに対する期待が低いほど、育児効力感が低いほど、育児役割を「害・損失」と捉えやすいことが明らかとなった。

次に「挑戦」を従属変数として重回帰分析をおこなった結果、自分の親のサポート、育児効力感が有意な関連性を示していた。したがって、「実親のサポートに対する期待が大きいほど、育児効力感が高いほど、育児役割を挑戦と捉えやすいことが明らかにされた。

最後に抑うつを従属変数として重回帰分析を行った結果、育児役割に対する認知評価である害・損失と利益、夫のサポートが有意な関連性を示しました。したがって、夫のサポートに対する期待が大きいほど、育児役割を害・損失と捉えやすいほど、利益と捉えにくいほど、抑うつ傾向になりやすいということが明らかとなった。

注1：重回帰分析

統計解析の文脈では、「原因」に該当する項目を独立変数、「結果」に該当する項目を従属変数と呼ぶ。重回帰分析とは、複数の独立変数を用いて1つの従属変数を予測・説明する際に使用する統計手法である。詳細は省くが、重回帰分析の結果、出力される標準化偏回帰係数である β の値が絶対値で1に近いほど、独立変数が従属変数と強い関連を有していることを表している。また、重相関係数 R^2 値と（自由度）調整済み R^2 値は、重回帰式の子測の精度・説明力を意味し、この値が1に近いほど、投入した独立変数が従属変数をうまく予測・説明できていることを意味している。

表 5. 重回帰分析結果 1

| 独立変数 | 従属変数 | | | | |
|----------------------|-------|---------------|-------|-------|-------|
| | 育児効力感 | 育児役割に対する認知的評価 | | | 抑うつ |
| | | 利益 | 害・損失 | 挑戦 | |
| 標準偏回帰係数 (β) | | | | | |
| 母親の年齢 | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. |
| 子どもの数 | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. |
| 末子の性別 | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. |
| 末子の年齢 | n.s. | -0.10 | n.s. | n.s. | n.s. |
| 夫のサポート | 0.27 | 0.20 | -0.14 | n.s. | n.s. |
| 自分の親のサポート | 0.12 | n.s. | n.s. | 0.14 | -0.12 |
| 友人のサポート | 0.11 | 0.15 | n.s. | n.s. | n.s. |
| 専門家のサポート | n.s. | n.s. | -0.08 | n.s. | n.s. |
| 家事・育児役割分担 | 0.21 | n.s. | n.s. | n.s. | n.s. |
| 育児効力感 | — | 0.43 | -0.24 | 0.13 | -0.24 |
| 利益 | — | — | — | — | -0.15 |
| 害・損失 | — | — | — | — | 0.23 |
| 挑戦 | — | — | — | — | n.s. |
| R ² 値 | 0.095 | 0.335 | 0.110 | 0.064 | 0.147 |
| 調整済みR ² 値 | 0.081 | 0.325 | 0.098 | 0.053 | 0.134 |

12. 仕事から家庭へのスピルオーバーと育児放任傾向の関係

仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーを多く経験する母親ほど、育児放任傾向が強い

育児放任傾向を従属変数、母親の年齢、子どもの数、末子の年齢、労働時間、家庭から仕事あるいは仕事から家庭へのスピルオーバー、育児サポートを独立変数とした重回帰分析を行ったところ、仕事から家庭へのポジティブスピルオーバー、育児サポートがあるほど、育児放任傾向になる可能性が低いという結果であった。一方、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーがあるほど、育児放任傾向になる可能性が高くなるという結果となった。今回の分析では、母親の年齢、子どもの数、末子の年齢、労働時間との有意な関係はみられなかった。

表 6. 重回帰分析結果 2

| | 育児放任 標準化β係数 | 有意確率 |
|----------------------|----------------|------|
| 母親の年齢 | n.s. | n.s. |
| 子どもの数 | n.s. | n.s. |
| 末子の年齢 | n.s. | n.s. |
| 労働時間 | n.s. | n.s. |
| 家庭から仕事へのポジティブスピルオーバー | -0.22 | 0.00 |
| 家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー | 0.20 | 0.00 |
| サポート | -0.15 | 0.00 |
| R ² 乗 | 0.14 | |
| 調整済みR ² 乗 | 0.13 | |

13. 仕事・家庭環境と仕事から家庭へのスピルオーバー、抑うつ傾向の関係

今回の調査結果を用いて、母親の「仕事環境」と「仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー・ポジティブスピルオーバー」の関係、「家庭環境」と「家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー・ポジティブスピルオーバー」の関係について重回帰分析を用いて検討した。さらに「仕事環境（7領域）」「家庭環境（7領域）」「スピルオーバー（4領域）」と「抑うつ」の関係についても重回帰分析を用いて検討した。

表 7. 重回帰分析結果 3

| | 仕事から家庭への ネガティブスピルオーバー | 家庭から仕事への ネガティブスピルオーバー | 仕事から家庭への ポジティブスピルオーバー | 家庭から仕事への ポジティブスピルオーバー | 抑うつ |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------|
| 標準偏回帰係数 (β) | | | | | |
| <仕事環境> | | | | | |
| 評価制度の未熟性 | n. s. | - | n. s. | - | 0.11** |
| 上司のサポート | n. s. | - | n. s. | - | n. s. |
| 身分の不安 | n. s. | - | n. s. | - | n. s. |
| 職場風土 | 0.15*** | - | n. s. | - | n. s. |
| 仕事の量・質の要求度 | 0.19*** | - | n. s. | - | n. s. |
| 裁量性 | n. s. | - | n. s. | - | n. s. |
| 同僚のサポート | n. s. | - | n. s. | - | n. s. |
| <家庭環境> | | | | | |
| 夫サポート | - | -0.09** | - | n. s. | -0.24*** |
| 実親サポート | - | n. s. | - | n. s. | n. s. |
| 義親サポート | - | -0.08** | - | n. s. | n. s. |
| 友人・近隣の人サポート | - | n. s. | - | n. s. | n. s. |
| 専門家・ベビーシッター | - | n. s. | - | n. s. | n. s. |
| ・ボランティアサポート | - | n. s. | - | n. s. | n. s. |
| 兄弟・姉妹サポート | - | n. s. | - | n. s. | n. s. |
| 家事育児分担サポート | - | n. s. | - | n. s. | n. s. |
| <仕事と家庭のスピルオーバー> | | | | | |
| 仕事から家庭への ネガティブスピルオーバー | - | 0.73*** | n. s. | n. s. | 0.23** |
| 家庭から仕事への ネガティブスピルオーバー | 0.69*** | - | -0.11** | n. s. | 0.22** |
| 仕事から家庭への ポジティブスピルオーバー | n. s. | n. s. | - | 0.74*** | n. s. |
| 家庭から仕事への ポジティブスピルオーバー | n. s. | n. s. | 0.73*** | - | n. s. |

※「仕事から家庭へのスピルオーバー」を従属変数とした場合、「仕事環境」「仕事と家庭のスピルオーバー」を独立変数、「家庭から仕事へのスピルオーバー」を従属変数とした場合、「家庭環境」「仕事から家庭へのスピルオーバー」を独立変数、「抑うつ」を従属変数とした場合、「仕事環境」「家庭環境」「仕事と家庭のスピルオーバー」を独立変数として分析した。

<仕事から家庭へのスピルオーバーについて>

子育てをしている母親に配慮した職場風土ではなく、仕事の量・質の要求度が高い職場ほど、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーを多く経験する

どのような「仕事環境」が仕事から家庭のスピルオーバーを引き起こすのだろうか。これを明らかにするため、「仕事環境」に関する7つの変数を独立変数、「仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー・ポジティブスピルオーバー

一」をそれぞれ従属変数とした重回帰分析をおこなった。

結果、「職場風土」と「仕事の量・質の要求度」が「仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー」に影響していることが明らかとなった。つまり、有給休暇が気兼ねなくとれない、周りの雰囲気ですぐ早く帰りづらいなどの子育て中の母親に配慮されていない職場風土であるほど、仕事の量的・質的に多くを要求される職場であるほど、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーが多いという結果であった。また、その他のスピルオーバーとの関係を検討した結果、「家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー」を多く経験する人ほど、「仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー」も多く経験するということが明らかとなった。

一方、「仕事から家庭へのポジティブスピルオーバー」に対しては、いずれの変数も有意な影響を示していなかった。

<家庭から仕事へのスピルオーバーについて>

夫と義親からのサポートが乏しい母親ほど、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーを多く経験する

「家庭環境」に関する7つの変数を独立変数、「家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー・ポジティブスピルオーバー」をそれぞれ従属変数とする重回帰分析の結果、夫と義親から得るサポートが乏しいほど、「家庭から仕事へのネガティブスピルオーバー」を有意に多く経験するということが明らかとなった。一方、「家庭から仕事へのポジティブスピルオーバー」にはいずれの変数も有意な影響を与えていなかった。

<仕事環境、家庭環境、スピルオーバーと抑うつとの関係>

評価制度が未熟であり、夫サポートが乏しく、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーを多く経験するほど抑うつ傾向が強まる

「抑うつ」を従属変数、仕事環境、家庭環境、仕事と家庭のスピルオーバーをそれぞれ独立変数として投入した重回帰分析の結果、自分の仕事に対して適切に評価されていない仕事環境ほど、夫のサポートが乏しい家庭環境ほど、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバー、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーを多く経験しているほど、抑うつになる可能性が高くなるということが明らかとなった。

II. 今後の子育て支援策のあり方

最後に、本調査結果により得られた主要な示唆に基づき、いくつかの提言を述べる。

1) 精神的健康の悪化予防にむけた職場・家庭環境の見直し

本対象者のうちの約2割が、抑うつ測定に用いたCES-D尺度で16点以上であり、精神的健康に何らかの問題を抱えていた。本調査の分析の結果、抑うつの原因として、職場の勤務評価制度が未熟であること、夫からの育児サポートが少ないこと、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーが多いこと、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーが多いこと、が挙げられた。さらに仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーは、育児休業等がとりにくく、育児する女性に対しての理解が乏しい職場風土と、要求される仕事の量が多く、質的にも高いレベルを要求される仕事環境によって引き起こされる傾向にあること、家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーは夫や義理の親から得られる育児・家事に対するサポートが少ないことによってもたらされる傾向にあった。

したがって、働く母親の精神的健康の悪化を予防するためには、職場においては（「性」によって差別されることのない）客観的かつ公正な勤務評価体制を整備すること、家庭においては夫の育児参加を促進すること、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーと家庭から仕事へのネガティブスピルオーバーを軽減することが有効である。仕事から育児へのネガティブスピルオーバーの軽減には、職場優先の企業風土の是正を図り、育児する女性に配慮した職場風土をつくると同時に、仕事の量的・質的負荷を可能な限り適正なものにしていくことが有効である。以上のような取り組みを推進していくことで、働く母親の精神的健康の悪化予防・改善が可能となるであろう。

2) 育児放任傾向を是正するためのスピルオーバー対策の必要性

本調査の対象者全体で見れば、育児放任傾向の頻度は決して高くはない。しかし、若干名ではあるが、強い育児放任傾向にある母親が存在しており、早急な対応が必要であると考えられる。もちろん、日中は保育所に通わせており子どもと1日中ずっと一緒に生活していないこと、夫と育児・家事役割を共有していることを考慮するならば、その分だけ育児放任傾向が強くなることも考えられる。しかしながら、その影響を考慮してもなお育児放任傾向の強い母親が存在していることが明らかとなっている。

それでは育児放任傾向を改善するために有効な対策としてどのようなものがあるだろうか。本分析の結果より、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーの経験が多いほど、仕事から家庭へのポジティブスピルオーバーの経験が少ないほど、周囲の人々からの育児サポートを期待できないほど、育児放任傾向が強いということが示唆された。このことから、育児放任傾向是正のための取り組みは精神的健康の維持・悪化予防のための取り組みとおおむね似た内容と

なっていることが明らかとなった。すなわち、仕事から家庭へのネガティブスピルオーバーは育児する女性に配慮した職場風土づくりと仕事の量的・質的負荷の適正化を図ることによって改善が期待でき、周囲の人々からの育児サポートは、特に夫の育児参加を促進するための意識啓発や地域の育児支援体制の整備を図ることで改善が期待できる可能性がある。なお、本報告における一連の分析の結果、仕事から家庭へのポジティブスピルオーバーを促進するために有効な労働職場・組織環境要因は見当たらなかった。しかし育児放任傾向には、仕事から家庭へのポジティブスピルオーバーが関与していることが示唆され、その促進につながる要因の解明は育児放任傾向の是正に向けての具体的な取り組みを考えていく上で必要である。この点は今後の課題としたい。

3) 育児に対する自信（育児効力感）を高めるための取り組み

本調査対象者の約9割はフルタイムまたはパートタイムで働いている母親であり、本報告も主に仕事と育児の両方の役割を担っている母親に焦点を当てたものとなっている。しかし、これまでの報告によれば、就労していない母親、すなわち専業主婦は、特に核家族の家庭で、親族や配偶者の支援を得にくく、地域の支援なども得られないことから、ひとりで育児をすることに精神的な負担を感じ、子どもとの接し方に自信が持てないことを悩んでいる者が多いとされている。そこで、本報告では就労していない母親も含め、育児に対する自信、すなわち、育児効力感と育児サポート等の家庭環境、抑うつとの関連性を検討した。

本対象者の育児効力感は決して高いとは言い難い（平均7点/20点満点）。本分析の結果、育児効力感が低い母親は、育児によって自由や健康が損なわれたと強く感じており、育児によって得られる喜びや楽しみ、育児に対する意欲や前向きな感情をさほど感じていない傾向にあった。また、低い育児効力感、抑うつの危険性を高めていた。このことから、母親の育児に対する態度を改善し、母親の精神的健康を維持・改善していく上で、育児効力感を高めるための取り組みが必要といえる。育児効力感を高める個別的介绍の方法として、次の点を踏まえたアプローチが有効であるかもしれない：1) 成功体験（育児をするうえで、必ずクリアできる、無理のない目標を立てて、それを達成してもらうことで自信を持ってもらう）、2) 代理体験（性、年齢、状況などが対象者と似ているような人から育児の話聞いてもらったり、そのような人について話してみる）、3) 言語的説得（対象者の状態や置かれている状況から、うまく育児をすることができると、説得力のある言葉で励ます）、4) 生理的・情動的状态（育児を始めたばかりのときには戸惑いや疲れなどを伴うが、誰でも最初はそうであること、次第にそういう生理的状态がおきにくくなることを説明する）。また、本分析の結果、育児効力感には、夫からの育児サポート、自分の親からの育児サポート、友人からの育児サポートが関係していたので、夫の育児参加と地域の育児支援体制の整備を図ることによっても、育児効力感を高めること

が可能であるかもしれない。こうした働きかけを総合的に実施することで、相乗効果が期待でき、母親の育児効力感の向上、ひいては精神的健康の維持・改善につながると期待される。

謝辞

本調査の実施にあたり、調査表の回答にご協力くださった皆様に心から御礼申し上げます。

また、本調査の趣旨をご理解いただき、調査の実施にご協力くださった保育所の皆様方に対しまして、心より御礼申し上げます。

引用文献

- Coleman PK., & Karraker KH. (1997). Self-efficacy and Parenting Quality: Findings and Future Application. *Developmental Review*, 18, 47-85.
- Dumka LE, Stoerzinger HD, Jackson KM, and Roos MW. (1996). Examination of the cross-cultural and cross-language equivalence of the parenting self-agency measure. *Family Relations*, 45, 216-222.
- Hanson, G, Hammer LB. & Colton CL. (2006). Development and Validation of a Multidimensional Scale of Perceived Work-Family Positive Spillover. *Journal of Occupational Health Psychology*, 11, 249-265.
- Lazarus, R. S. & Folkman, S. (1984). *Stress, Appraisal and Coping*, Springer Publishing Company: N. Y.
- Radloff, L. S. (1977). The CES-D scale: A self report depression scale for research in the general population'. *Applied Psychological Measurement* 1: 385-401
- 島悟, 鹿野達男, 北村俊則, 浅井昌弘. (1985). 新しい抑うつ性自己評価尺度について. *精神医学*, 27; 717-723,
- 鄭真己, 山崎喜比古 (2003). 情報サービス産業における労働職場環境特性が労働者の心身の健康, 職務不満足及び離職意向に及ぼす影響. *産業衛生学雑誌*, 45, 20 - 30.
- 鄭真己, 山崎喜比古 (2005). コールセンターの労働職場環境特性が労働者に及ぼす影響 —某情報サービス企業の縦断研究—. *産業衛生学雑誌*, 47, 210-223.
- 富永真己, 古川照美 (2007). 日本人のコンピュータ技術職における労働職場環境のストレスとコーピング特性が精神的健康度に及ぼす影響について. *弘前大学医学部保健学科紀要*, 6, 1-9.
- 福丸由佳, 中山美由紀, 小泉智恵, 無藤隆 (2006). 妊娠期の妻をもつ夫の仕事役割の状況と妻へのサポートとの関連. *母性衛生*, 47, 180-189.
- 吉野 諒三, (2005). 特集 東アジア価値観国際比較調査」その1 東アジア価

値観国際比較調査 . 行動計量学, 32, 133-146 .

渡井 いずみ, 錦戸 典子, 村嶋 幸代. (2006) “ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度 (Work-Family Conflict Scale: WFCS) 日本語版の開発と検討” . 産業衛生学雑誌. 48. 71-81.

保育所を利用する女性の育児・職場環境と 健康に関するアンケート

ご協力のお願い

「男性は仕事、女性は家庭(育児)」といった伝統的な性別役割分業観がいまだ根強く存在し、子育て支援環境整備の取り組みの遅れとあいまって、仕事と育児の両立や子育てを行っていくこと自体が困難だと感じている女性は少なくないことが知られています。こうした負担や葛藤は、女性の生活満足感の低下、不安や抑うつなどの健康状態の悪化を引き起こすことが指摘されています。

そこで、母親の心身の健康を維持・増進していくために、どのような子育て支援環境を整備していったらよいか、について資料を得るために、このたび調査を実施させていただくこととなりました。ご多忙のところたいへん恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力をお願い申し上げます。

また、お答えいただきました内容については、全体として統計的に処理いたしますので、皆様の個人情報や保育所や外部に漏れることはありません。ご迷惑をおかけすることがないよう最善の配慮を払っておりますので、ご自身のお考えをありのままにご記入ください。

お問い合わせ先

問1. あなたご自身についておうかがいします。以下の質問について、
該当する番号には○印を、下線部もしくは()には文字または数字をご記入ください。

(1)お子さんとの関係をご記入ください。

1. 母親 2. その他

※「1. 母親」と回答された方のみ、質問(2)以下にご回答をお願い致します。
また、「2. その他」と回答して下さった方は、13ページの「問11」にお進みください。

(2)あなたの年齢をご記入ください。

満 _____ 歳

(3) ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方を含めた、あなたの家族構成を
ご記入ください。(単身赴任など、一時的に不在の方も含みます)

1. 夫婦と子ども
2. 一人親と子ども
3. 子どもと夫婦とその親(実父母、義父母)
4. その他()

(4)質問(3)で、「3.子どもと夫婦とその親(実父母、義父母)」と回答された方にお尋ねします。
現在同居している父母の続柄をご記入ください(該当するものすべてに○をつけてください)。

1. 実父 2. 実母 3. 義父 4. 義母

(5)お子さんの人数についてご記入ください。

また、末子のお子さんの性別と年齢をご記入ください。

なお、一人っ子の場合は、「お子さんの人数」を「1人」とし、そのお子さんの性別と年齢をご記入ください。

| |
|--|
| お子さんの人数 ()人 |
| <u> </u> 男 · 女 (歳) |

(6) ご家族の中に現在、あなたが介助している、お身体が不自由な方はいますか。

| |
|-------------------|
| 1. いる 2. いない |
|-------------------|

問2. 現在のあなたのお仕事の状況についておうかがいします。

(1)あなたのお仕事についてご記入ください。

| |
|--------------------------------------|
| 1. フルタイム勤務 |
| 2. パート勤務 |
| 3. 専業主婦(無職) |
| 4. その他() |

※「3. 専業主婦(無職)」「4. その他」と回答された方は、次ページにお進み下さい。

「1.フルタイム勤務」「2.パート勤務」と回答された方は引き続き、次の質問にお答えください。

(2) あなたのご職業について、あてはまるものに○をつけて下さい。

| | | |
|--------------------------------------|----------------|--------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員 (地方・国家) | 3. 自営業 |
| 4. 専門職 (弁護士、医師、研究者など) | 5. パート・アルバイト | |
| 6. その他() | | |

(3) 勤務時間についてご記入ください。なお、日雇い・内職など、勤務時間が一定ではない方は、「2. 不定期」に○をつけて下さい。

| |
|----------------------|
| 1. _____時間 × 週_____日 |
| 2. 不定期 |

問3. 以下の項目は、母親としての感情や思いを表しています。あなたは日ごろお子さんとの関わりの中で、このように感じたり、思ったりすることがどれくらいありますか。以下の質問項目それぞれについて、最もあてはまると思われる回答欄の番号に○印をご記入ください。

| 質問項目 | 回答欄 | | | | |
|--|------------------|---------------|--------------|----------------|--------------|
| 1. 私は、母親としての自分に自信を感じる | 1.まったく そう思わない | 2.たまに そう思う | 3.時々 そう思う | 4.たびたび そう思う | 5.常に そう思う |
| 2. 私は母親として、うまくやっていると思う | 1.まったく そう思わない | 2.たまに そう思う | 3.時々 そう思う | 4.たびたび そう思う | 5.常に そう思う |
| 3. 私は、他の親にとっても役に立つような、母親として必要な知識を十分に持っていると思う | 1.まったく そう思わない | 2.たまに そう思う | 3.時々 そう思う | 4.たびたび そう思う | 5.常に そう思う |
| 4. 私は、子どもとの間で起こるたいいの問題を解決することができると思う | 1.まったく そう思わない | 2.たまに そう思う | 3.時々 そう思う | 4.たびたび そう思う | 5.常に そう思う |
| 5. 私は、子どもとの間でうまくいかないことがある時、うまくいくまで頑張れると思う | 1.まったく そう思わない | 2.たまに そう思う | 3.時々 そう思う | 4.たびたび そう思う | 5.常に そう思う |

問4. あなたは次のような意見についてどのように思いますか。それぞれの意見について、もっともあてはまると思われる回答欄の番号に、ひとつだけ○印をご記入下さい。

| 質問項目 | 回答欄 | | | |
|-------------------------|-------------------|----------------|---------|---------------------|
| 1. 先祖を尊ぶ ^{とうと} | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |
| 2. 長男は両親の面倒を見るべき | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |
| 3. 妻は夫に従う | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |
| 4. 親が反対する結婚はしない | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |
| 5. 年上の人意見に従う | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |
| 6. 家系を続かせるため息子は必要だ | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |
| 7. 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ | 1. 決して そうは思わない | 2. そうは 思わない | 3. そう思う | 4. まったく その通りだと思う |

問5. 以下の質問は、日ごろあなたが育児をどのようにとらえているかについて、お聞きするものです。以下の質問項目それぞれについて、最も当てはまると思われる回答欄の番号に○印をご記入ください。

| 質問項目 | 回答欄 | | | |
|------------------------------------|-------------------|------------------|---------------|----------------|
| 1. 育児は私の生きがいや楽しみになっていると思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 2. 育児によって家族の絆が深まったと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 3. 育児を通して、難しい状況に対処する力や自信がついたと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 4. 育児を通じて、人間関係が豊かになったと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 5. 育児をすることで、親としての自覚や責任感が強くなったと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 6. 育児をすることで、自由な時間が取れないと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 7. 育児をすることで、他の社会的な責任を果たすことができないと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 8. 育児で出費がかさみ、余裕のある生活ができないと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 9. 育児により、自分の健康が損なわれていると思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 10. 育児により、不安や悩みが増えたと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 11. 楽しんで育児をしていこうと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 12. 誰かに育児を代わってもらいたいと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 13. 育児でつらいことがあっても、うまく対処していこうと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 14. 子どもが成人するまで責任をもって育て上げようと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |
| 15. 子どもを育てるためにできるだけのことをしようと思う | 1. まったく そう思わない | 2. あまり そう思わない | 3. やや そう思う | 4. 非常に そう思う |

問6. 保育所に通われているお子さんに対して、あなたが日頃から気をつけていることについてお尋ねします。以下の質問項目について、最もあてはまると思われる回答欄の番号にひとつだけ○印をご記入ください。

| 質問項目 | 回答欄 | | | |
|---|--------------------|-------------------|-----------------|---------------|
| 1. 遊びや自然体験などをさせている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 2. 基本的なマナーやルールは教えている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 3. 子どもの発達に応じた学習の機会を与えている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 4. 毎食しっかりと食べさせている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 5. 栄養のバランスを考えて食事とおやつを食べさせている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 6. 子どもと一緒に食事をとるようにしている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 7. 子どもの衣類や身のまわりはいつも清潔にしている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 8. 定期的に子どもを入浴させている(病気のときは除く) | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 9. 歯磨き、手洗い、爪きりなど、子どもの衛生に気をつけている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 10. 子どもの具合が悪そうなときは、子どもを病院へ連れて行く | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 11. 保育所から連絡があればすぐに子どもを迎えに行く | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 12. ちょっとした怪我や病気のときには、適切に対応している | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 13. 一人で(子どもだけで)留守番をさせないようにしている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 14. 買い物や旅行などの際には、子どもの安全に注意を払っている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 15. 子どもの手の届く範囲に危険なものを置かないようにしている(タバコ、ライター、刃物など) | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 16. 子どもの睡眠時間は十分に確保している | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |

| | | | | |
|---------------------------------|--------------------|-------------------|-----------------|---------------|
| 17. 夜更かしはさせないようにしている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 18. 子どもが安心して眠れる環境を整えている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 19. 子どもの保育園での様子を把握している | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 20. 子どもの好きなことや嫌いな(苦手な)ことを把握している | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 21. 子どもをよくほめてあげている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |
| 22. 子どもからの語りかけには優しく応じている | 1. まったく そうしていない | 2. あまり そうしていない | 3. まあ そうしている | 4. そう している |

問7. 日ごろ子育てを行っていくなかで、あなたは周りの人に以下の支援をどのくらい期待できると思いますか。もっともあてはまる回答欄の番号にひとつだけ、○印をつけて下さい。

| 質問内容 | 回答欄 | | | |
|--|-------------------|------------------|----------------|-----------------|
| 1. 育児について悩みや不安があるとき、 <u>夫</u> は相談にのってくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 2. 育児に対して嫌なことや不満があるとき、 <u>夫</u> は不平や不満を聞いてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 3. 仕事や病気で育児ができないときは、 <u>夫</u> が代わりに家事・育児をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 4. ちょっとした用事があるときは、 <u>夫</u> が子どもの世話をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 5. 育児について悩みや不安があるとき、 <u>自分の親</u> は相談にのってくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 6. 育児に対して嫌なことや不満があるとき、 <u>自分の親</u> は不平や不満を聞いてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 7. 仕事や病気で育児ができないときは、 <u>自分の親</u> が代わりに家事・育児をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 8. ちょっとした用事があるときは、 <u>自分の親</u> が子どもの世話をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 9. 育児について悩みや不安があるとき、 <u>夫の親</u> は相談にのってくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 10. 育児に対して嫌なことや不満があるとき、 <u>夫の親</u> は不平や不満を聞いてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 11. 仕事や病気で育児ができないときは、 <u>夫の親</u> が代わりに家事・育児をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |

| | | | | |
|---|-------------------|------------------|----------------|-----------------|
| 12. ちょっとした用事があるときは、 <u>夫の親</u> が子どもの世話をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 13. 育児について悩みや不安があるとき、 <u>友人・近隣の人</u> は相談にのってくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 14. 育児に対して嫌なことや不満があるとき、 <u>友人・近隣の人</u> は不平や不満を聞いてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 15. 仕事や病気で育児ができないときは、 <u>友人・近隣の人</u> が代わりに家事・育児をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 16. ちょっとした用事があるときは、 <u>友人・近隣の人</u> が子どもの世話をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 17. 育児について悩みや不安があるとき、 <u>専門家やベビーシッター、ボランティア</u> は 相談にのってくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 18. 育児に対して嫌なことや不満があるとき、 <u>専門家やベビーシッター、ボランティア</u> は 不平や不満を聞いてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 19. 仕事や病気で育児ができないときは、 <u>専門家やベビーシッター、ボランティア</u> が 代わりに家事・育児をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 20. ちょっとした用事があるときは、 <u>専門家やベビーシッター、ボランティア</u> が 子どもの世話をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 21. 育児について悩みや不安があるとき、 <u>自分の兄弟・姉妹</u> は相談にのってくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 22. 育児に対して嫌なことや不満があるとき、 <u>自分の兄弟・姉妹</u> は不平や不満を聞いてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 23. 仕事や病気で育児ができないときは <u>自分の兄弟・姉妹</u> が代わりに家事・育児を してくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |
| 24. ちょっとした用事があるときは、 <u>自分の兄弟・姉妹</u> が子どもの世話をしてくれる | 1. いない、 期待できない | 2. あまり 期待できない | 3. 少し 期待できる | 4. とても 期待できる |

問8. 日常生活についてお聞きいたします。家事、育児、経済的な面において、あなたは夫とどのように分担なさっていますか。以下の質問項目について、最もあてはまると思われる回答欄の番号に○印をご記入ください。

| 質問項目 | 回答欄 | | | | |
|---------------------------------|----------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 夫婦で子どもの教育・子育てについてどの程度分担しているか | 1. もっぱら 配偶者 | 2. ほとんど 配偶者 | 3. 夫婦が 同じくらい | 4. ほとんど 自分 | 5. もっぱら 自分 |